

防災班 キヤップ そええ・まいさん 蛭川 さん 高木 さん

リニューアル 第1回 備える

### 子を守るため 地域のつながりを

そええ・01

**蛭川** 早速呼び名直して防災班の蛭川理紗さん(まき)を取ってほしい。

**まい** 了解しました！ 行きます。こんにちは、みんなお仕事をしていますか？

**蛭川** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**まい** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**蛭川** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。



防災からで遊ぶ蛭川理紗さん(左から2人目)と子どもたち一名古屋市千種区

備えるものを紹介する高木一恵さん(右端)ら一名古屋市東区で



備えるものを紹介する高木一恵さん(右端)ら一名古屋市東区で

### 災害ごとに準備を

そええ・02



**まい** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**蛭川** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**まい** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**蛭川** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**まい** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**蛭川** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**まい** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。

**蛭川** そうですね。防災の日が家庭でも防災を考えたほうがいいかも。



そええ・まい



名古屋の専門学校生らデザイン

そええ・まいさんは、名古屋市のNPO法人「防災自助普及委員会」が企画した防災アイドルキャラクター。理事長の伊藤知恵さん(58)が名古屋工学院専門学校(同市熱田区)に依頼して、教員の世古哲也さん(44)とゼミ生がデザインを手掛けた。

名前は、名古屋弁で「備えをしましよう」を意味する「備えよまい」にちなむ。困った人を見逃さない性格で、特技はローリングストック(消費した分を買い足す備蓄法)と、揺れに備えた家具の固定。3月に名古屋市防災広報アンパスターに任命された。

ゼミ生の角田七彩さん(20)は、まいさんの活動によって「若い人も防災に関心を持って」、伊藤さんも「備えの原動力になれば」と話す。

# 防災 子育て世代も考えて

## 2度の浸水 標柱で意識

▼18 ▲伊勢湾台風(岐阜県養老町)

揖斐川の支流、牧田川の堤防道路脇に一決壊口がある。一九五九年養老町高地区の周辺は二十四日間にわたり浸水した。この場所は同年八月の豪雨でも幅目二十センチ以上が二十九日間浸水した。排水や家屋の被害が約一週間後に再び浸水に舞われたことになる。

一水が引いても流れが戻っていた。また、またかと思われた。養老町の伊勢湾台風(今)が当時を繰り返す。伊坂さんが撮った写真は、民家の一階天井付近で浸水。田んぼが畑のようになったことが分かる。家屋被害はかさかしたもの。住民の間では死者はいなかったと伝わる。

伊坂さんの写真を使って小学校で災害を伝える西暦一四〇〇年(一)は、八月の被災経験があったから。二度目の決壊も落し首いで堤防に避難できたが、だから、子どもたちは「生活する場所の地形や過去の災害を知っておいてほしい」と伝えている。

町内には一度の水害で浸水した箇所を示す水位標柱がいくつも残る。名古屋大被災連携研究センターの代表、副センター長は、日常的に目にする機会が多く、防災意識を高めるきっかけになると、可能性を説いた。(戸川祐康)



浸水の水位を示す水位標柱「間は地帯」



アクセス 大聖駅から名阪近鉄バスの海津線に乗り、横古地バス停で下車。約30分